

市議会では、上程された令和3年度上越市一般会計補正予算、令和4年度上越市一般会計予算などについての常任委員会審査が7日から16日にかけて行われました。今号では、農政建設常任委員会、文教経済常任委員会、厚生常任委員会での審査からいくつかの質疑を紹介します。

産廃最終処分場、第三セクター、補聴器などで活発な議論



【ユキワリソウ】(再掲) キンポウゲ科の多年草。この名称は俗称です。正式には「オオミスミソウ」と呼びます。春一番に咲く花のひとつ。花の色は白のほか、ピンク、薄青などがあります。花期は2月～5月。わが家の山にもあって、子どもの頃から、この花を見るのが楽しみでした。花言葉は、「自信」「はにかみ屋」などです。写真は13日撮影。

7日の農政建設常任委員会。新規就農者等定住転入促進事業について質疑が行われました。

私はこの委員会所属ではありませんが、委員長の許可をもらい、番外発言しました。私は5日にNHK総合で放映された「新・映像詩 里山」に触れながら、新規就農者から上越市にもつと入ってもらうためには、経営面や農業機械等の支援だけでなく、上越市で農業を営むことが豊かなくらいにな

がる、という視点で取り組むことが大切だと訴えました。

9日の文教経済常任委員会。上越市が出資している第三セクターは48、いずれも厳しい経営です。そうしたなか、新年度、Jホールディングスなどに大きな動きがありそうな気配となってきました。これまで日本共産党議員団が解散すべきと主張してきたJホールディングスは遅くない時期に解散することになると思います。

11日、14日と審査を行った厚生常任委員会の報告です。

まず新年度から18歳以上の人たちも助成することにした「軽・中等度難聴者補聴器助成事業」ですが、新年度当初予算では97件を見込んでいます。日本共産党議員団の平良木議員は、「オーバーしたときはどうするか」と質問しました。これに対して担当課長は、「事業者の情報をもとに積算した。オーバーしたら補正対応する」と明言しました。

市では、障害のある人の外出支援や人工透析患者の交通費助成を行っています。平良木議員は、「原油の値上げによるガソリンなどの高騰に何らかの対応をすべき

ではないか」と質問しました。行政側は、「総合的に考えなきゃならない時期が来ている」とのべていました。すぐにも検討してほしいものです。

上越地区における産業廃棄物広域最終処分場候補地の問題は、7日、新潟県が柿崎区下中山と竹鼻の2か所に絞り込んだということもあって、活発な質疑が行われました。

平良木議員は、①候補地が10いくつある段階で、そのうち2か所は地元から手が上がったことだったか、今回の2か所は該当するのか。②中越沖地震のとき、国道で大きな段差ができたが、上越市の東縁断層、またはその枝線

といった不安定な層に属していないか、と質問しました。

行政側は、「今回の候補地は手上げされた地域ではない」「それらの断層に該当していない」と答えていました。

武藤議員は、「説明会での住民の反応はどうであったか」「候補地の下の方には水田がある。風評被害が懸念されているかどうか」と質問しました。行政側は、「転出されている地権者にも連絡するのとか医療廃棄物はどうなるかなどの質問があったと聞いている。出雲崎では風評被害は出ていないと聞いた。懸念の声は出ていないと思う」と答えました。

市では、障害のある人の外出支援や人工透析患者の交通費助成を行っています。平良木議員は、「原油の値上げによるガソリンなどの高騰に何らかの対応をすべき

はしづめ法一の
活動レポート

No.2053 2022.3.20
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たる記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第七〇〇回 絵はがき

この歳になって、夢中になるものがまたひとつ増えました。自家製の絵はがき作りです。

今年一月になってから、私はコンサート等のイベントや各種会議のイラストに加えて、風景画にも挑戦しています。最初に描いたのは、中郷区片貝の農道から見た妙高山などの風景です。

ちょうど、NHKの「きらっと新潟」で火野正平が自転車に乗って全国を旅する「こころ旅」の一〇〇〇回目の再放送がされた頃です。遠くに妙高山、その手前に旧片貝小学校や圃場整備された田んぼ、そして放送では何度か通過したえちごトキめき鉄道の電車を描きました。それに加えて、放送ではなかったのですが、火野正平が自転車に乗って妙高山を見ている場面も入れてみました。

ボールペンで下描きをし、コピックペンで色塗りしただけの作品ですが、初心者としてはまずまずの出来栄となりました。

描いたイラストをインターネットで紹介したところ、有り難いことに、「絵にはバランスポイントがある。暖かいお人柄が感じられ、ほっとするので『温活絵画』と命名しました」「情景をよくとらえられていました」「今後とも暖かい眼差しを通して描かれた世界を楽しみにしております」などの感想が寄せられました。

こうなると調子に乗ってしまいます。一月二二日の夜、NHK Eテレ特集、「たんぼ物語 限界集落で究極の酒作り秋田鵜養(うやしなひ)」を見た私は、ふるさとを守ろうとする取組に感心するとともに、稲刈りをしているところの映像の美しさに惹かれました。そして、この風景画を一気に描き上げました。

この作品は一作目と比べ、山の色塗りが上手いかず、納得できない出来上がりとなりましたが、風景を描きたいという気持ち

ちはなえることはありませんでした。その後、柿崎区百木から見た米山さんの風景や大島区の田麦集落の様子などを次々と描いていきました。

そうこうするうちに、別の欲も出てきました。手前味噌になりますが、描いた絵をはがきに使ったら、素敵な絵はがきになるのではないかと、そう思ったのです。

ヒントを与えてくれたのは、一月下旬、吉川区のTさん宅で見せてもらった、だるまさんの絵が入った「大丈夫だるま」はがきでした。この作者は静物、野の花、風景など何でも上手く描ける人でした。この人のような絵はとても描けません、見た瞬間から、「自分もこんなことをやってみたい」という気持ちが生まれました。

数日後、私は中郷区片貝の風景画、吉川区河沢の「さいの神」を描いた絵、そして直江津はライオン像のある館で行われた川合徹人さんのコンサートの様子を描いた三枚の絵の電子データを持ってコンビニに行き、コピー機を使って初めて、はがきにプリントしてみました。面白いものですね。縦一五センチ、横一〇センチの四角い枠に入れただけで、これまで考えてもみなかった世界が広がったのです。ちょうど、作品展で見る額に入った絵のような感じになりました。

自分で描いた絵を使っている絵はがきづくりは、この一ヶ月間だけでも三回ほどやりました。いずれも素人の作品でありながら、見てくださった方からは、「既製品にはない温もり伝わります」「女性がコトコト歩いているのを送って」などうれしい言葉を送っていただきました。

最近、車を走らせていても、「この風景、絵はがきにしてみたい」などと思うようになり、スマホを使って連絡をするのもいいですが、これからは、お礼の言葉やちょっとした連絡は手づくりの絵はがきを使ってみようと思っています。

上越九条の会も抗議のスタンディング ロシアはウクライナから直ちに撤退せよ！



上越九条の会は12日、市民プラザにて例会を開きました。ロシアによるウクライナへの侵略についての関心が高く、参加者は50人近くにもなりました。

例会では、元作新学院大学教授の片岡豊さんが、「ウクライナ侵攻と日本国憲法」と題して基調報告し、その後、「どうしたら、この戦争をやめさせられるか」を議論しました。

「いかなる理由をつけようとも軍隊が他国の領土に踏み込むのは国連憲章違反だ」「防弾チョッキ

は軍事支援とみなされる。医薬品を送るべきだ」などいろいろな意見が出ましたが、日本国憲法の立場でウクライナ侵略反対の世論を盛り上げていこうという点で一致をみました。

例会終了後は市民プラザ前でスタンディングを行い、通行人にアピールしました。イラストには参加者全員を描く予定でしたが、紙の大きさに比して人間を大きく描き過ぎ、描けない人も出てしまいました。



上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月9日(水)	3月16日(水)
上越南消防署	0.050	0.050
上越北消防署	0.040	0.050
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.040	0.040
名立分遣所	0.053	0.060
高士分遣所	0.040	0.053